

## ユニセフのつどい 2012 in みやぎ～「地球のステージ・災害特別篇」を開催しました

6月1日（金）仙台市シルバーセンター交流ホールで開催し、約300名が参加しました。2011年度の宮城県ユニセフ協会の活動報告を15分間のビデオにわかりやすくまとめ、みなさんにご理解いただきました。東日本大震災での支援活動も加わった年でした。「地球のステージ」公演は、通常は国際支援活動が主ですが、この日は東日本大震災に特化した「震災篇」「復興篇」「未来篇」の上演でした。被災地宮城、特に桑山さんが医療支援活動を展開した名取市関上は、私たちにとってとても身近な街です。「あなたは津波に襲われた関上の街を知っていますか？・・・昨日までの地図は使えなくなりました」から始まった語りと映像に、会場の誰もが釘付けになりました。「未来篇」は、被災地が未来に向けてどんな動きをしていくかを伝えるもの。被災2年目となるとどんどん忘れられていきます。だからこそ、被災地がきちんと発信し、非被災地とつなげていくことが大切だと、桑山さんは静かに訴えます。ひとりひとりが3・11を忘れないこと、伝えていくこと、できることをやること・・・感動いっぱいのものでした。



### 兵庫県ユニセフ協会のみなさんが応援に・・・

連休明けの5月7～9日、被災地を応援するために事務局長と11名のボランティアさんが宮城を訪れました。気仙沼～南三陸町～石巻～仙台～関上の被災状況とユニセフの支援状況を見ていただきました。気仙沼ではみやぎ生協の県北ボラセンの菊地さんに案内していただき、南三陸町はユニセフの若林さんが案内しました。佐藤仁町長と4月にオープンした町役場の町長室で懇談させていただきました。兵庫のみなさんは、訪問の



先方でたくさんお買いものされました。多くの方々に来てほしいですね。

### 南三陸町あさひ幼稚園上棟式

5月20日、晴れわたる青空のもと、町長はじめ園の先生方、保護者、子どもたち、地域の方々約100名が参加しての上棟式が行われ、盛大な餅まきに子どもたちは大喜びでした。この建設には、日本ユニセフ協会を通じて、サッカーの長谷部誠選手から寄せられた書籍の印税やイベントでの収益などが充てられています。「ボクの本を買ってくれた日本のみなさんの思いが詰まった幼稚園です」と話されています。南三陸町にある大雄寺の樹齢200年の被災した杉の大木を建物の一部に使い、木のぬくもりのある希望に満ちた園舎になります。完成が待ち遠しいですね。



### 日野原重明日本ユニセフ協会大使の百賀記念講演「みんなでユニセフを支えよう」

5月15日、昨年100歳を迎えられた日野原大使の記念講演が、東京のユニセフハウスで開催され、お話を聞いてきました。「子どもの権利を守るために、95歳から子どものために捧げたい」「100歳はゴールではなく関所だよ」と。とてもお元氣な日野原大使です。

